

人と音を結ぶ  
Classic Nagoya  
クラシック名古屋  
〒460-0024  
名古屋市中区正木四丁目8番7号れんが丘1F  
TEL(052)678-5310 FAX(052)678-5330  
<http://clanago.com>

プレイガイド  
アイ・チワット  
☎ 0570-00-5310

# ナゴヤ劇場ジャーナル®

◆発行／マネージメント・プロ ◆編集／プランニングオフィス白壁 ◆協賛／クラシック名古屋

**MP MANAGEMENT PRO**  
①舞台イベントの企画制作・マネジメント  
②芸術コンサルティング  
③タレントのマネジメント  
④ナゴヤ劇場ジャーナルの発行

株式会社マネージメント・プロ  
〒461-0004 名古屋市東区葵2-11-22 アバンテージ葵ビル301  
TEL : 052-508-5095 FAX : 052-508-5097  
E-mail : mane-pro@mane-pro.com  
HP : <http://www.mane-pro.com>



「インティライミー」(撮影・杉原一馬)

## コンテンポラリーの上演で新境地

岡田純奈バレエ団の  
コンテンポラリーの上演で新境地  
12日・芸術創造センター」(6月  
見えた。メーンプログラム  
のコンテンポラリー「イ  
ンティライミー」太陽に捧  
げる踊り(振付・近江貞  
実)が目的だったが、前半  
のコンサートにも幾つか  
の収穫があった。  
まずは9人の群舞「瀬  
戸の白鳥」でセンターに  
立った佐々木香帆だ。ま  
だまだ成長途上の少女  
だが、体のバランスが美  
しく、観客を引き付ける  
魅力がある。「エスマラ  
ダ」「ヴァリアシオン」を  
伸び伸びと踊った加藤朱  
莉は身体能力も高いが面  
構えがいい。舞台人として  
欠かせない、芝居心が  
あるなどいいことだ。

さて「インティライミ  
ー」は南米アンデス山地  
の音楽(フォルクローレ)  
や風俗をテーマにした作  
品で、エースの石黒優美  
と黒一点の杉浦恭太(客  
演)を軸にした9人の群  
舞「ガニ股」を多用した  
コミカルな動きや、自然

## 舞台批評

岡田純奈バレエ団



# 地元バレエダンサー11人が出演 勅使川原三郎 振付「風の又三郎」



「風の又三郎」稽古風景 © Naoshi Hatori

2020年に愛知県芸術劇場の芸術監督に就任した勅使川原三郎が、東海地区の若いバレエダンサー11人とともにダンス公演「風の又三郎」(原作・宮沢賢治)を開く。開催場所は午後3時開演) 芸術劇場大ホール。

芸術監督就任以来、「白痴」「ペレアスとメリザン」などの自己紹介を兼ねた自身のダンス公演を行ってきた勅使川原が、初めて地元のダンサーを取り組み、ファミリー・プログラムとして披露する。

11人のダンサーは、昨年10月のオーディションで選出され、勅使川原と一緒に用意して愛知発の作品を取り組み、ファミリー・プログラムとして披露する。



# ナゴヤ劇場ジャーナル®

優れた演奏家の優れた人間性に触れ



杉山康人(チューバ) 盛大な拍手を受ける杉山康人

03年にウイーン国立歌劇場管弦楽団

バ奏者。20

年入団(アジ

ア初)。05年

からは全米5

大オーケスト

ラの一つ、ク

リーヴランド管弦楽団に

入団、現在に至っている。

今回、杉山はR・V・

ヴィリアムズの「バス・

チューバと管弦楽のため

の協奏曲」を演奏(指揮

は垣内悠希)。ハンサムな

容姿と同じく、洗練され

たスマートな演奏で聴衆

を魅了した。スマートと

言うのは、協奏曲だから

と自己主張するのではな

く、軽くソフトな音色で

曲全体のバランスを保つ

こと。強じんな体力(肺

活動量)と繊細なテクニッ

クを要する高度な演奏で

ある。

杉山は「軽くクリアに、

プログラムによれば、

中島みゆきの名曲をさらに昇華

れたヴォーカルで聴かせ

中島みゆきの「時代」と

「糸」。日本を代表する編

アとカンツォーネ、第2

部はポップス中心のプロ

グラム。庄巻だったのは、

ノだけだが、今回は河原

トが名フィルを指揮、一層

ゴージャスなアンサンブ

ルになった。

この日は第1部にアリ

ーとカンツォーネ、第2

部はポップス中心のプロ

グラム。庄巻だったのは、

ノだけだが、今回は河原

トが名フィルを指揮、一層

ゴージャスなアンサンブ

